

「浜松市小中学校施設整備適正化方針（案）」及び
「浜松市小中学校施設整備計画（案）」の策定について

1 目的

- ・「浜松市小中学校施設整備適正化方針」は、新しい時代に対応した、高機能で安全・安心な教育環境の構築、老朽化した施設の効率的・効果的な再生・活用、その他、地域利用の促進や激甚化する災害などの多様な社会的課題に一体的に対応した、学校施設整備を進めることを目的として策定するもの。
- ・「浜松市小中学校施設整備計画」は、上記方針に基づき、「施設老朽化、教育環境の向上、その他諸課題」に一体的に対応した持続可能な学校施設を、計画的に整備していくことを目的として策定するもの。

2 位置付け

- ・「浜松市小中学校施設整備適正化方針」は、「浜松市総合計画」、「浜松市教育推進大綱」、これに基づく「浜松市教育総合計画」や「浜松市学校規模適正化基本方針」を上位計画として、学校施設整備の基本理念や方向性を示したもの。
- ・「浜松市小中学校施設整備計画」は、上記方針の実現に向けた具体的な考え方や方法を示すもの。
- ・国土交通省の「インフラ長寿命化基本計画」や文部科学省の「インフラ長寿命化計画」、「浜松市公共施設等総合管理計画」や「浜松市公共建築物長寿命化指針」を受け策定する「個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）」として位置づけるもの。

3 策定期間

- ・「浜松市小中学校施設整備適正化方針」は、令和 7 年度～令和 26 年度までの 20 年間
- ・「浜松市小中学校施設整備計画」は、令和 7 年度～令和 16 年度までの 10 年間

4 内 容

- ・別紙資料のとおり

5 今後のスケジュール

- ・令和7年4月 施行

1 浜松市小中学校施設整備適正化方針について

【背髮】

社会面・教育面・環境面で、学校施設における学びのスタイルが変容し、学校施設が一斉更新の時間を迎える中、「教育環境の向上」と「老朽化対策」の一体的な施設整備が求められている。

【目的】

新しい時代に対応した、高機能で安全・安心な教育環境の構築、老朽化した施設の効率的・効果的な再生・活用、その他、地域利用の促進や激甚化する災害などの多様な社会的課題に一体的に対応した学校施設整備を進めることを目的として重要

【計画期間】

2025年度～2044年度（20年間）

【対象施設】

小中学校

2 現状と課題

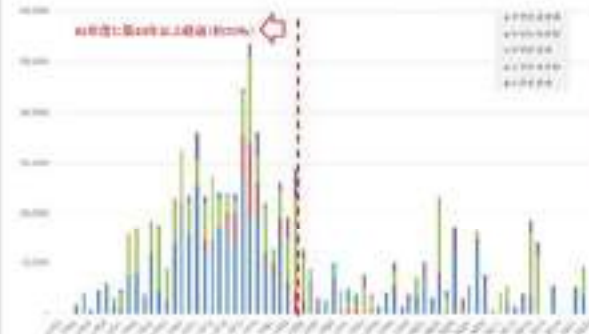
(1) 学校施設の状況

・140校・約900,000㎡（市所有施設約36%）、うち主要施設は約834,000㎡（475棟）

・築40年以上経過する建物の割合が「約7割」（R6年度末） ← [8]17

「図1」 葛井別所有林型（延床面積の分布）

© 2000 Blackwell Science Ltd



(2) ニーズの増加

- 特別の支援を要する児童生徒や、いじめ・不登校・外国人の増加による発達支援学級、各種支援教室の急増
- 放課後児童会、避難所、地域利用など、社会的ニーズの応
対

(3) 必要面積の増加

- ・教育の多様化、高度化、個別最適化など教育体制の変化
- ・義務標準法が改正、35人学級へ

①新しい学校集設の在り方

- ・安全・快適・機能的な施設
- ・新しい時代の学習環境整備
- ・新たな教育ニーズへの対応
- ・発達支援、取出し学習、インクルーシブ教育等
- ・社会的ニーズへの対応（地域利用、遊覧所利用等）
- ・高度社会等（Z世代等）への対応について

【計画の位置づけ】



3 基本理念等

多様なステークホルダーと協議し、学校機能を核とした地域中核施設としての適正かつあるべき姿を描き、これに基づく、機能的かつ持続可能な施設を、効率的な予算の執行を図る中で、計画的に整備を推進

- ▶施設長寿命化を基本とした計画的な整備（財政負担の軽減、予算の平準化）
- ▶人口動態を踏まえた適正規模の設定（複合化、供用化、民間施設活用の推進等の検討）
- ▶学校施設整備標準モデルをベースに各校の事情に応じたカスタマイズを実施
- ▶利用者意見の聴取、関係部門との協議

①【基本理念】3つの目標を大切に

Well-Beingの実現を目指し「児童生徒」「教職員」「地域住民」3つの目線により、新しい時代の施設整備に向けて検討

②【整備の方向性】6つの方向性を踏まえて

次の6つの方向性を念頭に、今後の学校施設整備のあり方について取りまとめ



③【整備の基本形】学校施設を2つに区分

教育専用施設部分

児童生徒・教職員の学校教育機能としてホームベースとなる諸室を専用エリア化

共同利用施設部分

教育機能に限らず「地域」に向けて開放可能な範囲を共同利用エリア化

＜裏面＞
区分イメージ図

4 施設整備に向けて

(1) 整備計画等の策定・運用

取り組み順序を定めた事業計画と整備の基本的な考え方を示す『整備計画』、これを補完する『整備水準』『整備プロセス』『マネジメントサイクル』などを策定し、施設の整備と維持管理を着実に進めていく。

整備計画	整備のスケジュール、全体費用、整備方法や事業工場などを取りまとめたもの
整備水準	各施設の整備の考え方や、各部署の整備の基本料や考え方を示すもの
整備プロセス	整備遂行の手順を示すもの
マネジメントシステム	持続的な施設整備・管理を進めるための施設マネジメントの手順を示すもの

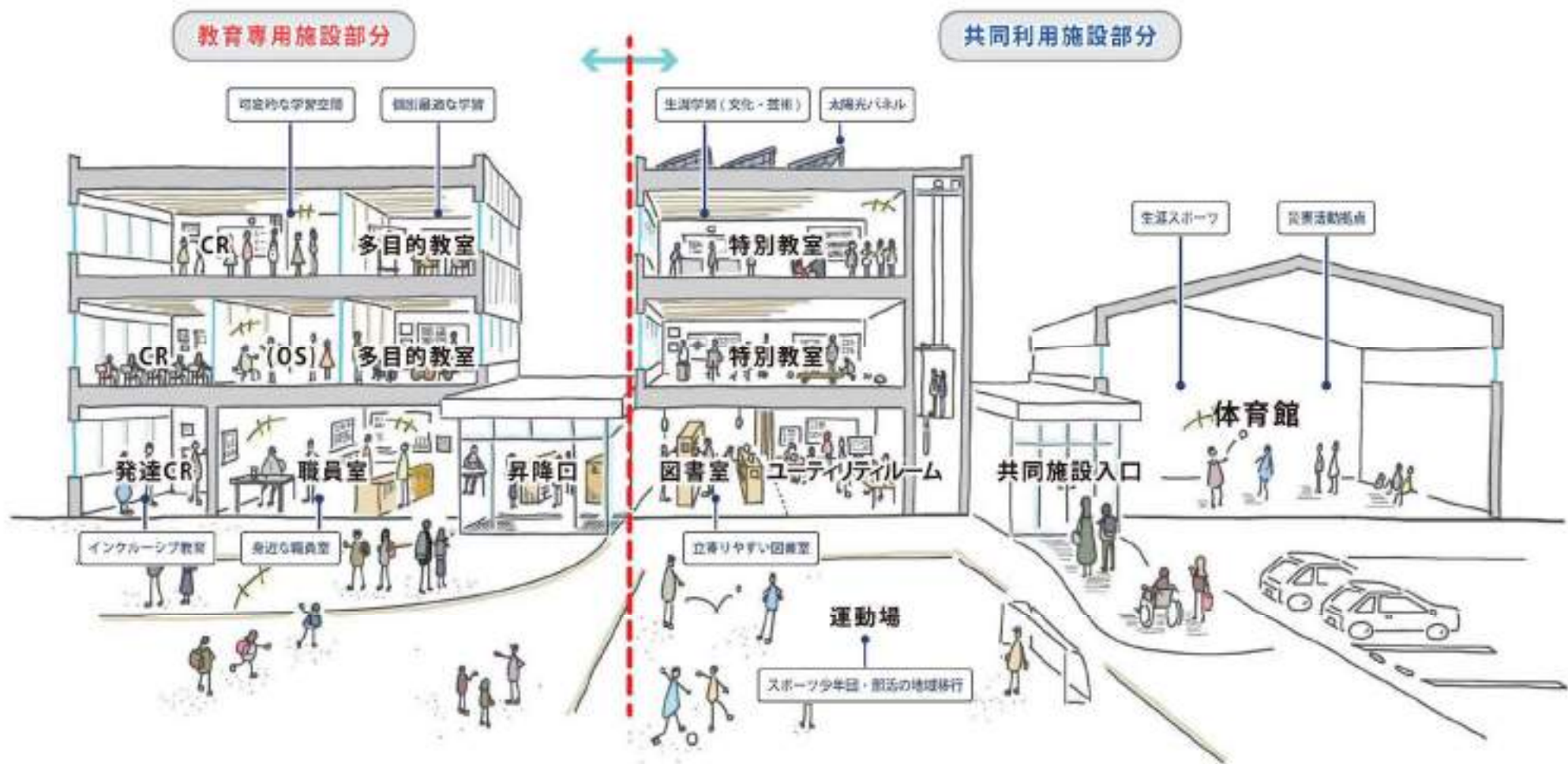
(2) 推進体制

- ▶ 市内関係各課との一層の連携、市として一体的な課題解決
- ▶ 多様なステークホルダー（学校関係者や利用者など）と調整の上、学校個別の事業計画を作成

(3) 計画の整理し

- 法令改正や運用方針の変更。社会、経済情勢の変化などに対応し、柔軟かつ適切に内容を充実化
- 法令と絡め、実用状況調査など各種点検により、継続的な施設老朽化、劣化度の確認、随時計画を見直し

作成中



- 使用時間帯や活動内容を考慮した棟単位でのゾーニングによる管理区分の明確化
- 共同利用、地域利用の促進にあたり施設の防犯性の向上
- 改築時に限らず、大規模改修時などにおいても、機能区分明確化に向けた整備を検討

～施設区分イメージ図～

1 背景

- 【目的】
「浜松市小中学校施設整備適正化方針」に基づき、「施設老朽化、教育環境の向上、その他諸課題」に一体的に対応した持続可能な学校施設を、計画的に整備していくことを目的に策定するもの
- 【計画期間】
2025年度～2034年度（10年間）
※上位計画「浜松市小中学校施設整備適正化方針（2025年～2044年度）」の前期10年
- 【対象施設】
小中学校主要施設 全475棟
【校舎、体育館、武道場、特別活動棟】



2 学校施設を取り巻く状況と課題

（1）施設の状況

- ・所有学校施設は1970年代を中心に集中的に建設。その多くが更新時期を迎えている
- ・計画的な更新に向け、施設や設備の劣化状況等を正確に把握するための以下の各種調査を実施
- ①建築物劣化状況 ・・外装（屋根・外壁）は比較的健全だが内部や設備の劣化が顕著 → 下表参照
- ②構造躯体圧縮強度・中性化 ・・躯体強度は健全。中性化は層内側で進行
- ③給排水管ほか劣化状況 ・・劣化進行により10年以内に使用限界に達する可能性が高い学校が多い
- ④バリアフリー適合状況 ・・バリアフリー化整備率は全体で3.6%。中学校より小学校の整備率が低い
- ⑤教室配置・利用状況 ・・約半数の学校で余剰教室がない（市設定の適正度と比較）
- ⑥のれんネット等劣化状況 ・・更新履歴がほとんどなく、特にフェンスの劣化が進行

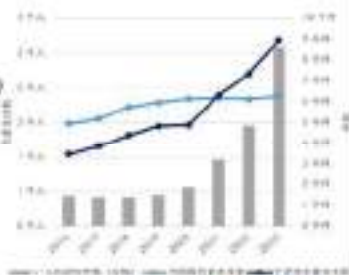
【単位：棟】

建物名/部位	屋根				外装				内部				設備				その他			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
校舎	120	95	84	11	131	65	79	14	47	122	102	9	73	114	81	4	54	94	28	102
体育館	47%	34%	14%	2%	43%	22%	27%	2%	54%	46%	50%	3%	32%	47%	21%	0%	19%	33%	13%	26%
武道場	47	37	47	17	50	40	41	3	16	78	14	2	42	70	14	4	18	24	7	33
特別活動棟	33%	24%	32%	2%	10%	32%	24%	4%	11%	39%	32%	1%	32%	54%	12%	0%	11%	33%	5%	28%
フェンス	17	14	12	1	8	13	21	1	6	31	7	1	2	14	1	5	1	31	1	34
計	40%	32%	23%	2%	19%	30%	24%	2%	12%	42%	34%	2%	12%	42%	24%	2%	12%	42%	24%	2%

【解説】 A：健全、B：良好、C：劣化進行（予防保全を要）、D：劣化顕著（要早急対応）

（2）年少人口等の状況

- ・15歳未満人口（2020年）
約10.2万人
- ・児童生徒数（2024～30年）
児童数 19%減少
生徒数 9%減少
- ・外国籍児童生徒数
28%増加（8年間）
- ・不登校児童生徒数
260%増加（8年間）
- ・いじめ認知件数
6.2倍（8年間）



（3）財政の状況

- ・社会保障費等の義務的経費が約52%を占め、今後も占める割合は増加の見通し（2024年度）
- ・平均約73億円/年の学校施設整備実績（過去5年間）
- ・築60年を目途とした改築、屋根・外壁改修や空調整備などを実施
- ・今後、築60年で改築する施設整備・更新を進めた場合、約192億円/年が必要となる。

（4）課題

- 施設状況に応じた長寿命化対応**
➢ 学校内での施設築年数の違いや施設形態、改修履歴も様々
➢ 施設状況に応じた効率的・効果的な施設整備を進めるための事業工夫が重要
- 多様化する教育環境への対応**
➢ 各種支援教室の増加やまなびのスタイルの変容により教室数不足
➢ 施設規模・機能の適正化、社会ニーズ対応などを老朽化対策と併せて実施する必要あり
- 事業費の縮減と平準化**
➢ 中長期的な視点に基づく施設規模の設定、財政負担の軽減、予算の平準化に向け継続的に取り組む必要あり

3 学校施設整備の基本的な考え方

（1）整備周期

予防保全と機能改良を基本とした「施設長寿命化サイクル」による目標使用年数80年を実現

- 目標使用年数を60年から80年とした整備周期で進めることで年間約48億円のコスト削減
- 事業工夫により平均約16億円の異なるコスト削減と事業集中を避けた予算の平準化を実現

（2）整備内容

耐用年数と機能向上を考慮した持続可能な施設利用に向けた整備

- 小規模改修では、予防保全を目的に屋根・外壁改修を中心に実施
- 大規模改修では、レイアウト改修など機能・環境の改善整備を実施

（3）異なる事業工夫

- ① 6つのタイプに基づく施設整備
- ② 学校単位での効率的な事業実施
- ③ 学校規模適正化や複合化・共用化等の検討

- 劣化の進行実態や、国庫補助の適用条件、児童生徒数の将来推移（面積適正化時期）を考慮し、施設長寿命化サイクルを定めた6つの事業タイプの設定による事業費の縮小・平準化を図る
- 異なる築年数でも可能な限り一斉整備を実施することで、事業の効率化を図る
- 相乗効果や交流促進による教育機能の向上を図った、他施設との施設複合化を積極的に検討

（4）事業効果

長寿命化サイクルと事業工夫により年間約64億円の事業費削減と予算の平準化を実現

- 目標使用年数を60年から80年とした整備周期で進めることで年間約48億円のコスト削減
- 事業工夫により平均約16億円の異なるコスト削減と事業集中を避けた予算の平準化を実現



整備タイプ（6分類）				
事業タイプ	施設築年数（2025年度）	整備の目的	【事業中の事業（3年以内）】 2025、2026、2027、2028、2029	整備タイプ
改築	築60年超	早期に改築し、新たな施設事業サイクルをスタート	→ 一部改修タイプ	早期改築型
大規模改修	築50～59年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
大規模改修	築40～49年	大規模改修 → 使用期間を延ばし改築へ	→ 一部改修タイプ	大規模延長型
小規模改修	築30～39年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築20～29年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築10～19年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築0～9年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築0～9年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築0～9年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型
小規模改修	築0～9年	必要部位改修・改築 → 改築へ	→ 一部改修タイプ	延命改築型

■ 改築時期 ■ 大規模改修時期 ■ 小規模改修時期



浜松市小中学校施設整備計画

4 実施に向けて

今後の学校施設整備の実施に向けた実施計画（事業計画）と、この計画を補完する指標類により、社会情勢などの変化や指導要領等の改訂、施設劣化の進行に応じて計画や指標類の適切な見直しを行いながら、事業を持続的に推進していく

（１）事業計画

- 本計画期間10年間の整備校数や整備費用を取りまとめた事業計画
 - ⇒ 全140校の80年整備計画（＝施設長寿命化の1サイクル期間での全体事業計画）を組み立てて設定したもの
- この事業計画に基づき計画的に整備を実施し、老朽化対策と教育環境の向上を、一体的に推進
 - ⇒ 年々変化する施設状態を継続的に調査・把握し、必要に応じ、事業計画を見直す

(実施校数)		2024	本計画期間										期間計
			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
改築	早期改築型	-	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	6
	延命改築型	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大規模改修	2群サイクル型	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大規模延命型	-	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	4
	（うち大規模改造）	-	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	4
	標準型	-	2	0	1	2	3	1	1	2	1	1	14
保全改修		-	0	0	0	1	0	1	1	1	2	2	8
小規模改修		26	14	6	9	6	4	8	6	4	6	6	69
総計	実施校数	26	17	10	13	13	11	14	11	11	13	13	126
	総事業費（百万円）	2,005	2,510	3,120	7,772	13,870	16,152	16,205	16,553	16,427	17,797	18,840	129,246

（２）整備水準

- 各施設や各部屋の整備の基本形や考え方を示す
- 当計画の上位計画である「浜松市小中学校施設整備適正化方針」で示した「6つの整備の方向性」を具現化したもの（各施設の整備理念や各部屋の整備重点事項などをイラストと共に表現）
- この整備水準をベースに基本形を構築するとともに、各学校の特性に応じたカスタマイズを加え、市全体の教育施設の公平性と学校の個性に対応した、魅力ある教育環境を構築していく

分類	整備水準作成対象
施設	校舎、体育館、武道場、附帯施設（附帯建築物、工作物） など
部屋	普通教室、多目的教室、特別教室、発達支援学級、各種支援教室、職員室、給食室、共用空間 など
社会的ニーズ	安全対策、環境対応 など
事業手法毎の適用範囲	大規模改修、保全改修、小規模改修

- 学校教育に必要な機能の確保に向け、施設規模や整備仕様を定める各種指針を作成し、整備水準を補完

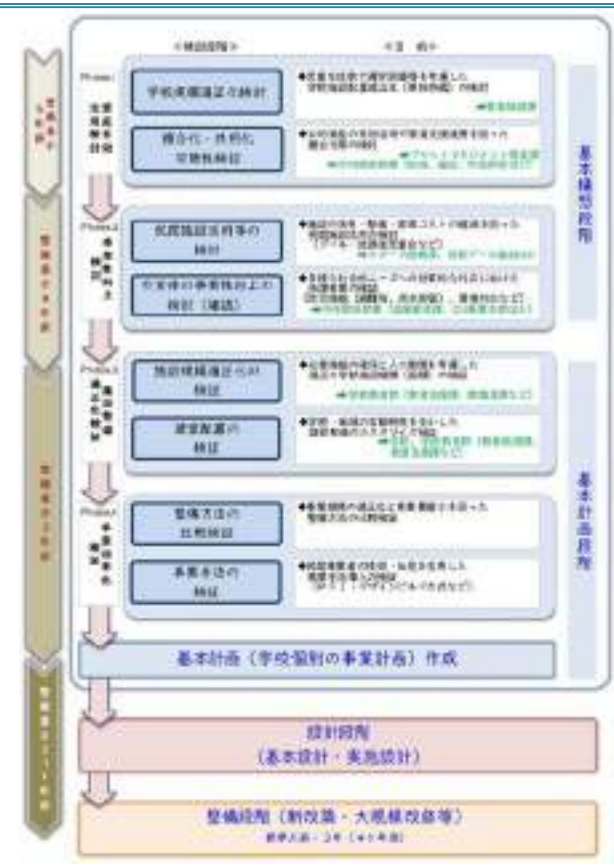
整備水準を補完する各種指針類				
種 類			内 容	
規模設定指針			児童生徒数等に応じた学校施設の面積等を示すもの	
各種整備指針	校舎	体育館	武道場	各施設内の教室等のあり方や基本形（機能）等を示すもの。
	プール	附帯建築物等	空調設備	各施設・設備の整備（更新）の方針等を示すもの

（３）整備プロセス

- 個々の学校施設の整備を着実に進めるための事業手順を示すもの
- 「6つの整備タイプ」により施設整備（着工）の概ね5年前を目途に基本構想を開始
- 中長期的な視点による今後の学校施設のあり方を模索する中で、以下の検証を進め、総合的な観点から事業手法を決定し、学校施設整備を実施

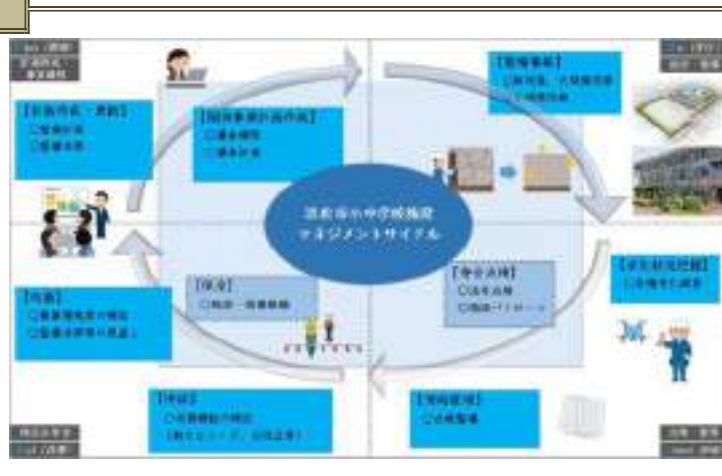
<基本構想・基本計画段階>

- ▼ 現在浜松市が所有する資産の有効活用の視点による検討
- ▼ 社会的な動向や多様化するニーズへの対応の視点による検討
- ▼ 事業規模の妥当性について将来を見据えた視点による検証
- ▼ 事業全体に係る費用の縮減化に向けた視点による検証



（４）マネジメントサイクル

- 持続的な施設整備・管理を進めるためのマネジメントの手順を示すもの
- 継続的な法令点検や施設パトロール（任意点検）による予防保全の取り組みと、施設の改修履歴の正確な把握により、適切なタイミングによる整備を実施
- 着実な整備の推進と、蓄積した学校施設整備に関するノウハウを活かした計画や指針類の改善に取り組み、計画を継続的に推進



浜松市小中学校

施設整備 適正化方針

(案)

2025 年 3 月

浜松市教育委員会

学校教育部教育施設課

目 次

第 1 章 浜松市小中学校施設整備適正化方針について	1
1 背景	
2 目的	
3 位置付け	
4 計画期間	
5 対象施設	
第 2 章 現状と課題	3
1 現状	
(1) 学校施設の状況	
(2) ニーズの増大	
(3) 必要面積の不足	
(4) 進む人口減少と局地的な人口増加	
(5) 機能高度化に伴う整備費の増大	
2 課題	
(1) 新しい学校施設の在り方の検討	
(2) 中長期的な視点に基づく適正規模の施設整備	
第 3 章 基本理念等	7
1 基本理念	
(1) 「学習・生活の場」としての学校 ～児童生徒目線～	
(2) 「働く場」としての学校 ～教職員目線～	
(3) 「地域共生の場」としての学校 ～地域目線～	
2 整備の方向性	
3 整備の基本形	
第 4 章 施設整備に向けて	13
1 整備計画等の策定・運用	
2 推進体制	
3 計画の見直し	
参考資料	15

第 3 章の 2 整備の方向性に示す用語について

第Ⅰ章 浜松市小中学校施設整備適正化方針について

Ⅰ 背景

Society5.0時代の到来で、産業構造や社会システムなどが劇的に変化しており、これに対応して、一人ひとりの児童生徒の資質や能力を育成する、新たな学校施設の在り方について、検討が求められています。

一方で、少子化が急速に進み、一部地域では、教育施設の維持が困難になる懸念があり、今後の小中学校施設は、年少人口の動向や将来の財政状況を見据えて、適正な規模となるよう、十分な検討を行う必要があります。

こうした中、2022年3月に文部科学省は、『「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造』する、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」について、学校設置者に対し、提言を行いました。

提言では、令和の日本型学校教育構築に向けた、教育の機会均等や、連携・分担による学校マネジメントの実現、ICTとの最適な組み合わせの実現などの方向性が示されました。

しかし、浜松市の学校施設は、令和の日本型学校教育を進めていく上での、新たな学びの場としては、機能面でも環境面でも不十分な施設が多く、加えて、第2次ベビーブーム期に整備した施設は、年数を経て、老朽化著しい状況にあります。

このように、社会面・教育面・環境面で、学校施設における学びのスタイルが変容している中、また、施設が一斉更新の時期を迎える中、「教育環境の向上」と「施設老朽化対策」を、一体的に進める学校施設整備が求められています。

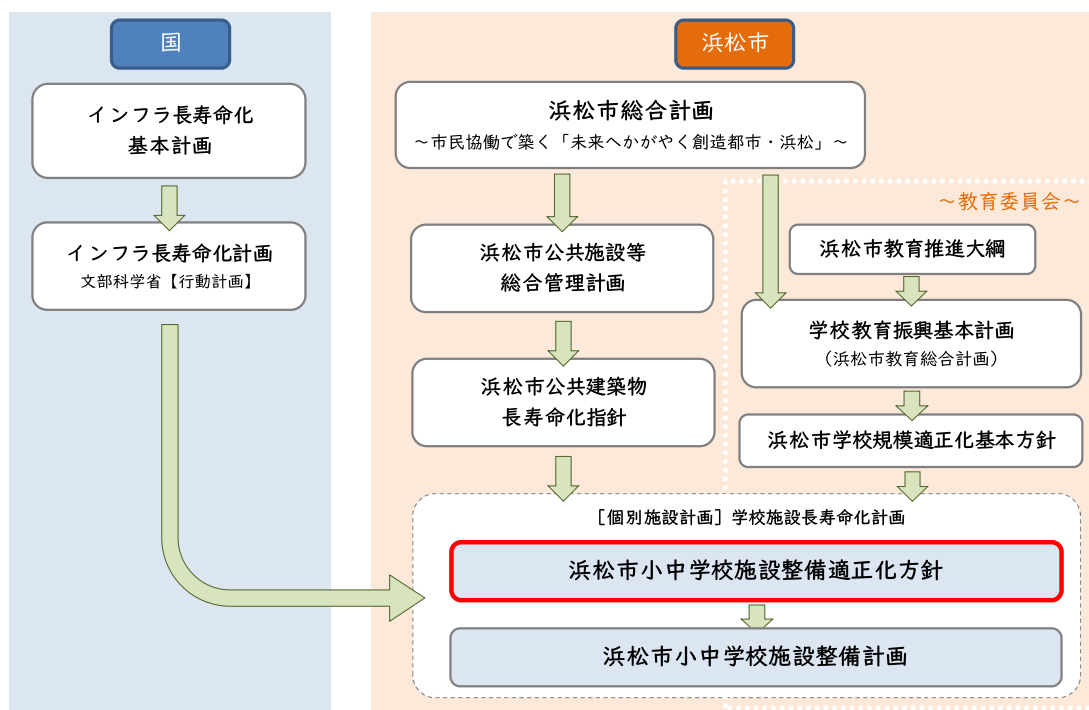
2 目的

本方針は、ICT教育推進など新しい時代に対応した、高機能で安全・安心な教育環境の構築、老朽化した施設の効率的・効果的な再生・活用、その他、地域利用の促進や激甚化する災害などの多様な社会的課題に一体的に対応した、学校施設整備を進めることを目的として、策定します。

3 位置付け

本方針は、本市の最上位計画である「浜松市総合計画」や、本市の教育及び文化の振興に関する総合的な方向性を定めた「浜松市教育推進大綱」、これに基づく「浜松市教育総合計画」や「浜松市学校規模適正化基本方針」を上位計画として、新たに学校施設整備を進める上での理念や、基本的な考え方を示すものです。

また、国土交通省の「インフラ長寿命化基本計画」や文部科学省の「インフラ長寿命化計画」、「浜松市公共施設等総合管理計画」や「浜松市公共建築物長寿命化指針」を受け策定する「個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）」として位置づけるものです。



〔図1-1〕 計画体系（位置づけ）

4 計画期間

本方針の期間は、当方針で示す基本理念の実現に向け、一貫性・継続性を確保するため長期的に設定し、2025年度から2044年度までの20年間とします。

5 対象施設

浜松市が所有する小中学校施設を対象とします。

第2章 現状と課題

Ⅰ 現状

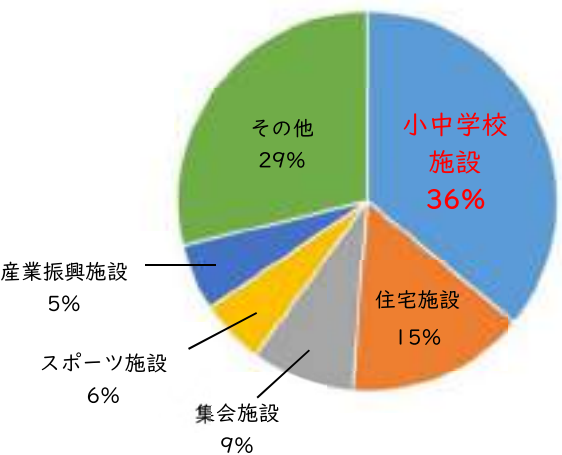
(1) 学校施設の状況

浜松市立小中学校施設は約 900,000 ㎡あり、浜松市が所有する全公共施設の延床面積の 36%を占めます。

そのうち校舎（給食室含む）、体育館、武道場・特別活動棟といった主要施設は、全 140 校・475 棟（約 834,000 ㎡）あり、1970 年代の第 2 次ベビーブーム期を中心に建築されたものが多く、2024 年度末には約 7 割が築 40 年以上経過するなど、その多くが老朽化しています。

※ 延床面積は、2025 年 3 月時の所有状況

※ 校数は、小中学校を 1 つの学校として中学校でカウント。また、分校は校数から除く。



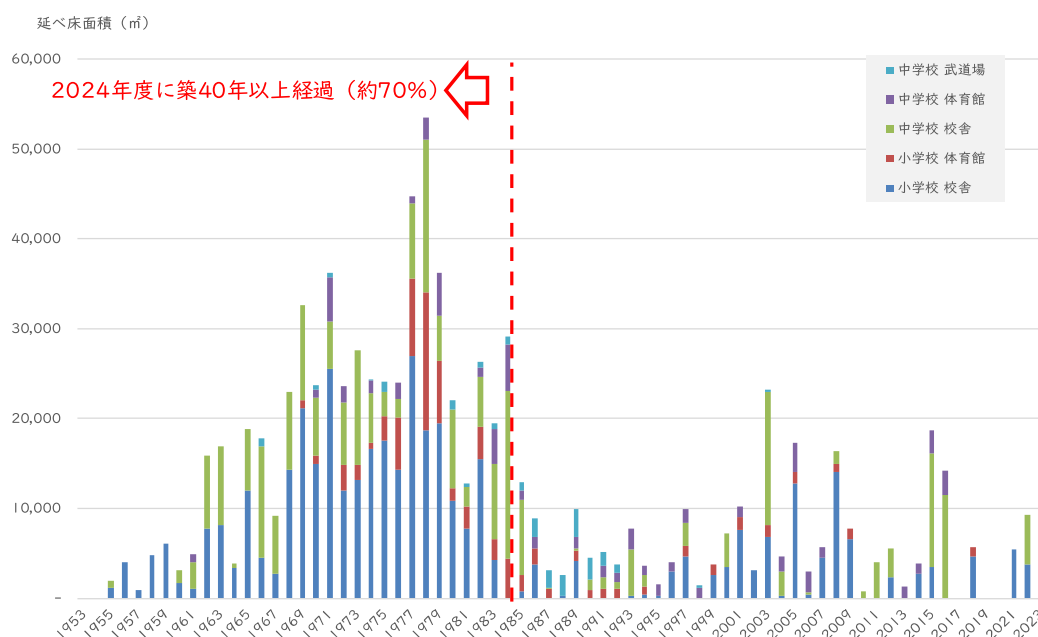
〔図 2-1〕 公共施設の延べ面積の割合

築年数	小学校		中学校			計
	校舎	体育館	校舎	体育館	武道場 特活棟	
65年～	8	—	1	—	—	9
60～64	15	—	11	1	—	27
55～59	18	1	14	—	1	34
50～54	28	9	15	8	3	63
45～49	53	47	20	10	1	131
40～44	21	17	18	7	8	71
35～39	4	6	7	3	20	40
30～34	2	4	8	5	8	27
20～29	12	4	7	6	2	31
10～19	14	3	5	7	—	29
～9	4	1	5	3	—	13
合計	179	92	111	50	43	475

築年数	小学校		中学校			計
	校舎	体育館	校舎	体育館	武道場 特活棟	
65年～	10,772	—	857	—	—	11,629
60～64	25,729	—	21,962	898	—	48,589
55～59	41,126	1,008	34,986	—	789	77,909
50～54	84,722	5,942	41,546	9,062	1,004	142,276
45～49	106,430	38,343	35,595	9,865	1,174	191,407
40～44	42,113	15,344	45,357	9,906	3,613	116,333
35～39	8,879	5,770	12,039	3,553	10,400	40,641
30～34	571	4,089	9,458	5,664	5,092	24,874
20～29	31,710	5,027	16,228	7,865	553	61,383
10～19	43,302	3,376	9,666	9,168	—	65,512
～9	17,206	972	29,640	5,309	—	53,127
合計	412,560	79,871	257,334	61,290	22,625	833,680

※ 築年数は 2024 年度末時における各棟加重平均によるもの（増築を繰り返して形成される棟が多いため、構成する棟における建築年次ごとの延べ床面積比率で算定した築年数）

〔図 2-2〕 建築年別所有一覧表《左：棟数 右：延床面積》



〔図 2-3〕 市内小中学校 築年別所有状況（延床面積の分布）

（2）ニーズの増大

特別の支援を必要とする児童生徒に対応して、より細かな教育体制を構築するよう発達支援学級が急増し、また、いじめや不登校など心のケアを必要とする児童生徒や言語面で段階的な教育を要する外国人などに対応するための、各種支援教室も増加しています。

さらには、放課後児童会の需要増加、避難所利用、地域利用など、学校に求められる社会的ニーズは、更なる広がりを見せています。

（3）必要面積の増加

教育の多様化・高度化が進みグループワークやチームティーチングなどの取り組みが増え、集団学習に加え、個別最適な学習形態が求められるなど、教育現場は刻々と変化しています。

また、よりきめ細やかな教育体制の考えのもと、小学校は全学年 35 人学級の編成へと義務標準法¹が改正され、中学校も同様の法改正が予定されております。

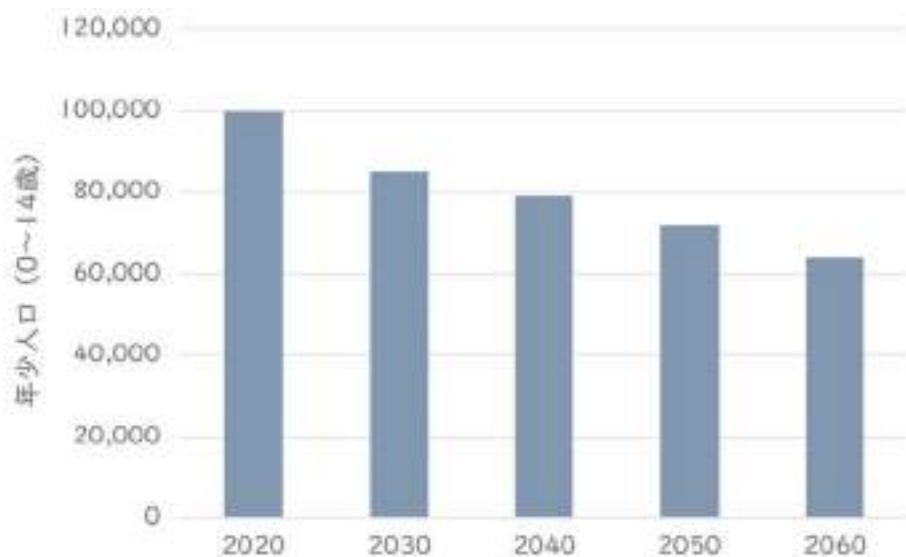
このように、少子化による児童生徒数の減少とは逆行して、教育機能上必要となる教室が増加してきており、学校によっては教室数が不足する状況も生じています。

¹ 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」

(4) 進む人口減少と局地的な人口増加

浜松市も、全国同様に児童生徒数は減少傾向にあり、2020年～2060年の40年間で年少人口は40%程度減少すると推定されております。

しかし、市街地縁辺集落制度²や大規模な宅地開発等により一部地域では、増加傾向も見られます。



〔図 2-4〕 年少人口の推移

(5) 機能高度化に伴う整備費の増大

熱中症対策としての空調設備導入や、改正バリアフリー法³対応、ICT関連機器の導入など、学校に求められる機能は高度化しており、今後も施設整備や維持管理に係る費用は増加するものと予想されます。

² 市街化調整区域の「市街地縁辺集落」に指定する区域のうち道路幅員や下水道利用等、一定の要件を満たせばだれでも専用住宅棟を建築できる制度

³ 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律

2 課題

Iの現状を踏まえ、施設老朽化や多様化する教育ニーズへの対応を一体的に進めるには、各施設の劣化度を正確に把握するとともに、児童生徒数の将来推計などにより今後の施設需要を想定する中で、優先順位を設けて、計画的に整備を進める必要があります。施設整備にあたっての課題は、大きくは、次の2点になります。

(1) 新しい学校施設の在り方の検討

教育の多様化・高度化が進み、学びのスタイルが大きく変容する中で、学校施設に求められる役割・機能は、単に教育施設にとどまるものではなくなっています。

これらを踏まえ、中長期的な観点から、多機能な活用が見込まれる今後の学校施設のあり方について、検討する必要があります。

<主な課題>

- ・安全・快適・機能的な施設について（バリアフリー化、居住性、ゾーニング等）
- ・ICT教育推進・個別学習など新しい時代の学習環境整備について
- ・新たな教育ニーズ（発達支援、取出し学習、インクルーシブ教育等）への対応について
- ・社会的ニーズ（地域利用、避難所利用、部活動地域移行等）への対応について
- ・脱炭素社会（ZEB化等）への対応について

(2) 中長期的な視点に基づく適正規模の施設整備

今後も続く人口減少や新たな時代要請にも柔軟かつ持続可能な施設に対応できるよう、中長期的な視点で検討を進める必要があります。

また、施設の一斉更新費用を可能な限り抑えるよう、統廃合等規模適正化や、他の公共施設との兼用利用、施設の長寿命化などについて検討する必要があります。

<主な課題>

- ・今後の人口動態や地域事情を考慮した適正規模の施設整備について
- ・長寿命化対応について（予防保全による計画的な改築、大規模改修、小規模改修等の推進）
- ・公共施設の複合化・共用化の推進、既存ストックの有効活用について
- ・民間施設活用について
- ・コスト縮減と財政支出の平準化について
- ・人口減少や将来の時代要請等に対応可能な施設整備について